

「2週間健診の評価と支援」勉強会

【開催要旨】

昨年カンガルーケア (STS) をテーマにして行った当学会主催の勉強会でしたが、今年は「2週間健診」をテーマに開催いたします。2週間健診は退院後一週間目の母親の心身のサポートや児の健康状態の観察に有効であると言われております。そのため2週間健診を行う施設も近年増えておりますが、その観点や方法も施設により様々であり一か月健診ほど一定していないことが現状です。そのため今回の勉強会は「どのような観点から行う2週間健診が母児にとって有効であるか」を検討する場として企画いたしました。勉強会に参加することでより新しい2週間健診像が見えてくるのではないかと期待しております。

【シンポジウムのねらい】

近年の少子高齢化、地域の育児支援力の脆弱化に加え、最近の分娩の集約化による入院の短期化などにより、母親の育児不安は増幅される傾向にある。特に産後1か月にかけて不安はピークに達し、それ以前の産後2週間目ごろには様々な理由により母乳育児を断念する母親が多いことが知られている。そのような中で、母乳育児を保護・推進・支援するには、産後2週間以内のかかわりが重要になってくる。

これらを踏まえて、シンポジウムでは健診を担う片山医師、産後フォローを行うBFHの坂上助産師、地域支援を行う小林保健師が、現状と改善策などについて述べ、IBCLCである滝医師が、Late Preterm児への対応を含むWHO・UNICEF、AAP、ABMに準拠したケアやフォローアップについて総括する。

【シンポジウムでの学習目標】

1. 2週間健診における母親側・児側の要因別留意点と母乳育児支援のポイントについて理解する。
2. Late Preterm児のフォローアップと母乳育児支援の留意点について理解する。
3. 十分なフォローアップが行えていない施設の現状を分析し、2週間健診のポイントをさらに深く理解する。
4. BFH施設での10か条の実践のステップ10に該当する退院後フォローの方法と留意点について理解する。
5. 退院後の行政としての地域母子保健支援（含む母乳育児）について理解する。

プログラム

開催日：2013年7月7日 13:00～15:30

開催場所：昭和大学病院 臨床講堂

○挨拶 石井 廣重（石井第一産婦人科クリニック（BFH）・担当常務理事）

○講演「2週間健診の評価と支援」（13:00～14:20）

司会 宇津野 博（宇津野産婦人科（BFH））

山田 恒世（石井第一産婦人科クリニック（BFH）師長）

1. 2週間健診と母乳育児支援（昭和大学小児科学講座小児科医・IBCLC 滝 元宏）
2. 母親へのサポート（日本赤十字社医療センター（BFH）助産師 坂上 とし子）
3. 子供へのサポート（茨城西南医療センター病院小児科医 片山 暢子）
4. 周囲の人々へのサポート（品川区品川保健センター保健師 小林 祐子）

○休憩（14:20～14:30）

○ディスカッション（14:30～15:30）

司会 涌谷 桐子（産婦人科医・IBCLC）

井村 真澄（日赤看護大教授・IBCLC）

○終わりの言葉 板橋 家頭夫（昭和大学小児科学講座主任教授・母乳哺育学会理事長）

速報

「2週間検診の評価と支援」勉強会

勉強会は、平成25年7月7日（日）午後1時より、昭和大学医学部臨床講堂で開催されました。東京は、35度を超える猛暑日にもかかわらず、約80名の方のご参加を頂きました。

資料として、勉強会の「開催要旨」「シンポジウムのねらい」「シンポジウムでの学習目標」、各パネラーの発表要旨及び発表のスライドが掲載された、26ページの資料が配付されました。

石井廣重担当常務理事の挨拶の後、宇津野先生と山田先生の司会で講演が進行しました。

滝先生は、「2週間検診と母乳支援」を2週間検診の意義と重要性を確認、

坂上先生は、「退院から2週間までの母親へのサポート」について、日本赤十字社医療センターで実施している6項目の退院後のサポートを紹介、

片山先生は、「子供へのサポート ～小児科からみた2週間検診～」を茨城西南医療センターで行っている2週間検診、

小林先生は、「妊娠期支援」「産後の支援」「産後うつ病予防の支援」など品川区で行っている「地域でのサポート」について、それぞれ、お話しくれました。

各講師の先生方のご講演は、わかりやすく話し頂き、さらに、スライドの内容が掲載されている資料が手元にあり、メモしやすく理解を深めることができました。

10分の休憩後、桶谷先生と井村先生の司会で、講演の先生方とのディスカッションが行われました。

会場からは、2週間検診を実施しようとする施設からいらした方より、費用についての質問など、活発に質疑応答が行われました。第28回学術集会について川崎会長より案内があり、板橋理事長より終わりの言葉をいただき、定刻より30分超過して16時に閉会となりました。

有意義な勉強会をありがとうございました。文責：本間

